

がんゲノム医療拠点病院指定による第1回エキスパートパネルを開催

<概要>

令和5年4月1日付けにて、厚生労働省より当院は「がんゲノム医療拠点病院」に指定されました。がんゲノム医療拠点病院は全国で32施設が指定を受けており、この指定により独自のエキスパートパネル（ゲノム情報の臨床的解釈のための専門会議）の開催等が可能になります。

がんゲノム医療とは、がん細胞の遺伝子（=ゲノム）を調べて、患者さん一人ひとりのがんの特徴（遺伝子変異）に基づいて治療を行うがん診療です。がんゲノム医療によって、遺伝子変異別の治療が可能となり、治療の選択肢が広がります。

当院では、昨年度は「がんゲノム医療連携病院」として全国でも最も多い検査実施数を誇り、遺伝子診療科と腫瘍内科が中心となって、各部署との連携・協力のもと迅速に検査及び診療を実施できる体制があります。

令和5年7月5日（水）、がんゲノム医療拠点病院指定後初の当院独自の第1回エキスパートパネルを開催いたしました。エキスパートパネルは、今後も定期開催されます。



札幌医科大学附属病院は、高度ながんゲノム医療を一人でも多くのがん患者さんに届けるため、診療・研究・教育の一体化の推進を図り、地域間の診療における格差解消のための連携強化を行い、北海道内のがん患者さんを救うべく貢献していきます。

<本件に関するお問い合わせ先>

札幌医科大学附属病院 事務局病院課 担当：玉田・藤田
TEL：011-611-2111（内線31290・31440）